

産業保健における女性労働者問題に係る調査研究のあり方等に関する研究

山口産業保健推進センター
石川産業保健推進センター
山形産業保健推進センター

目的

- 近年、働く女性が増加してくるとともに就労女性をめぐる産業保健の問題も重要性を増してきている。
- これまで産業保健推進センターでは産業保健の推進に係わる実践的な研究に取り組んできたが、働く女性の産業保健の問題についてはあまり目をむけられていなかった。この問題について社会的重要性が増していることから産保センターの調査研究の対象として取り組む必要がある。
- 産業保健における女性労働者問題に係わる調査研究の現状と課題を明らかにし、産保センターが行う調査研究のあり方を検討する。

方法

- 就労女性の産業保健に関する文献レビュー
- 「女性就労の諸問題への各産業保健推進センターの動向」アンケート結果
- 産業保健における女性労働者問題に係る調査研究の課題と展望

就労女性の産業保健に関する 文献レビュー

A. 就労女性の労働条件・家庭環境と健康

- 労働条件
- 家庭環境
- その他

B. 就労女性のメンタルヘルス

**「就労女性の諸問題への
各産業保健推進センターの動向」
アンケート結果**

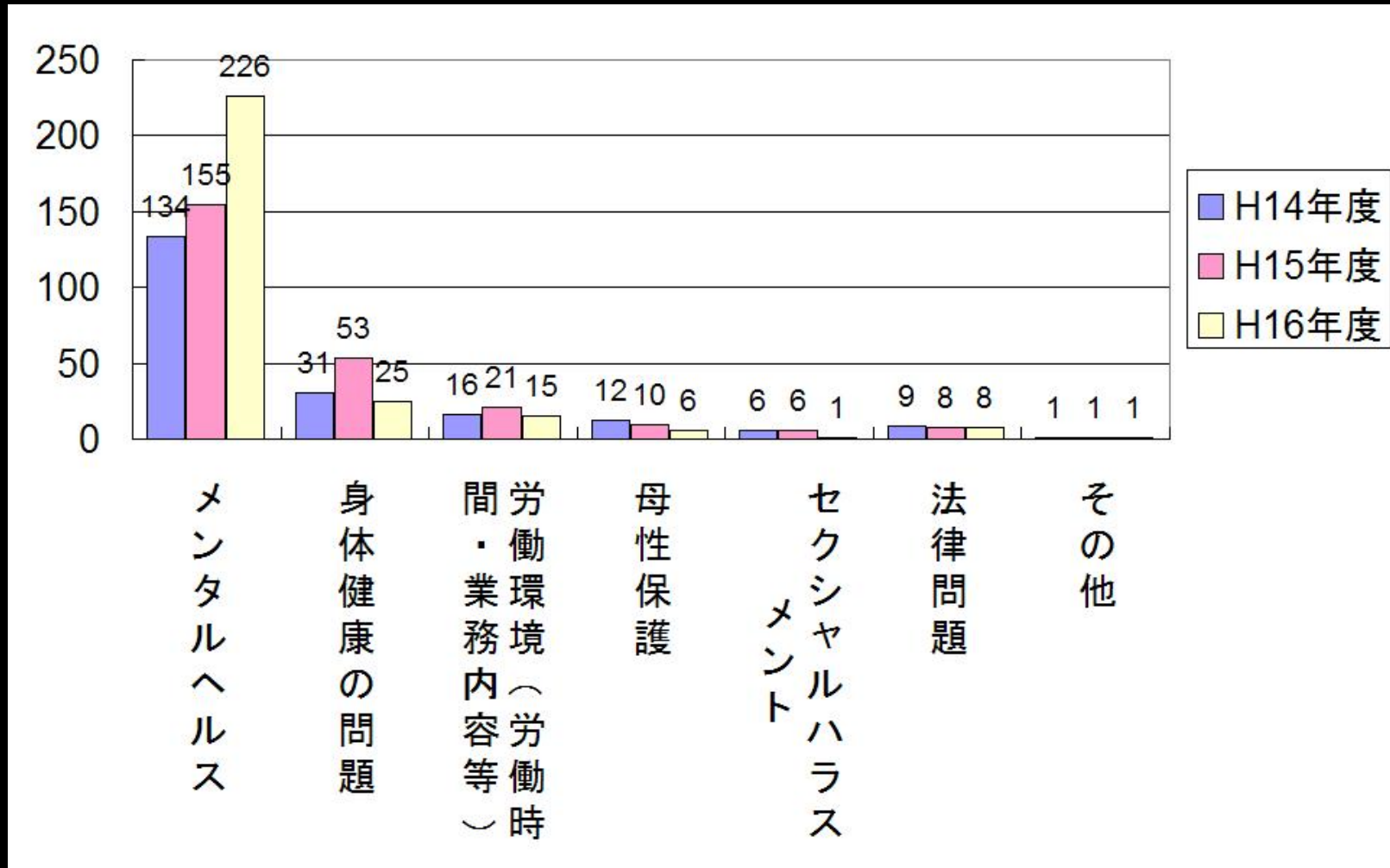
女性労働者に係る相談について

- 平成14年～16年度の総相談件数、女性に係る相談件数

	相談総件数	女性の 相談件数	女性件数 総件数
平成14年度	9,234	281	3.0%
平成15年度	9,788	330	3.4%
平成16年度	10,501	391	3.7%

女性労働者に係る相談

- 主な相談内容



注：回答のあった主な相談内容で件数が記載されていないものは一応1件として集計してある。

女性労働者に係る相談の今後の課題

- ◆ 女性相談員の増員配置(北海道、長崎)
- ◆ 事業場における心の健康保持を図る(宮城)
- ◆ 事業主への啓発指導(岡山)
- ◆ 産業保健スタッフ等によるメンタルヘルスケアの具体的な進め方(福岡)

女性労働者問題研修等の実施状況

- 平成14年度～16年度の総研修の実施件数と女性に係る研修の実施件数

	研修総件数	女性の研修件数	女性研修件数 総件数
平成14年度	2,162	25	1.2%
平成15年度	2,464	33	1.3%
平成16年度	2,740	40	1.5%

産業保健推進センターの女性労働者 問題に対応する体制

- 相談員の配置：埼玉、東京、滋賀、鳥取、岡山、

広島

- 労働局雇用均等室との連携：埼玉、富山、熊本、
広島、山形、三重、福井

- その他の行政機関との連携：福井、三重、鳥取、
京都

- 21世紀職業財団との連携：埼玉

- 電話相談の充実：埼玉

女性労働者問題をテーマにした 調査研究の有無

- 生活習慣と健康意識に関する調査研究(北海道)
- 3世代同居の観点からみた女性労働者の実態調査(山形)
- 産業看護職支援ネットワークシステムの構築に関するグループインタビュー法による調査研究
(福島)
- 働く女性の健康と影響する条件について(東京)
- 富山県における女子労働者の生活と労働環境に関する研究(富山)
- 産業看護職への事業所のニーズに関する調査
(岐阜)

女性労働者問題をテーマにした 調査研究の有無

- 女性労働者の産業保健管理、特に母性健康管理の実態に関する調査研究(愛知)
- 企業における母性健康管理の取り組みの現状と取り組みに対する就労妊婦の評価(奈良)
- 山口県下における産業保健に関わる保健師・看護師の活動実態調査(山口)
- 女性労働者の健康、特にメンタルヘルスの向上に関する調査研究(熊本)
- 女性労働者のストレス対処能力の向上と支援システムの構築に関する調査研究(熊本)

今後女性労働者問題として調査研究 すべきテーマ

- 女性労働者が就業している職場環境（深夜、有害業務）が健康に与えている影響について
（山形）
- 石川県の事業所で働く女性の心の健康と生活状況に関する調査研究（石川）
- 母性健康管理指導事項連絡カードの利用度とその効果、さらに今後の改善点等について
（岡山）
- 女性労働者における育児及び家事負担とストレスについて（山口）

その他の意見

- 女性労働者問題に関しては、産業保健の分野以外の労働条件や家庭環境等の問題があると思われ、全体として考えていく必要がある
(石川)
- 全国各地の病院に女性外来が開設され、多くの女性の支持を得ていることから、女性労働者問題の調査研究の必要性は大きい(宮城)
- 女性労働者の健康確保の課題 (石川)
- 女性のニーズに合った出産・育児の支援体制づくりと地域社会における育児支援体制の整備
(奈良)

その他の意見

- 女性労働者の生の声がセンターに届いてこない状況、研修会や産業看護職との連携を深めセンターの存在を知ってもらう(鳥取)
- セクハラ問題、雇用均等法、母性健康管理の遵守、など改善(岡山)
- 女性労働者の育休取得後の職場復帰における職場環境の変化と本人の適応性(鹿児島)

考 察

1. メンタルヘルス対策

メンタルヘルスの問題や女性特有の問題を配慮した
相談体制の充実を図る

実態把握

研修会のあり方

2. 母性保護など女性特有の問題

職場、特に上司への啓発

社会の育児支援体制、家庭環境の状況

他の行政機関等との情報支援、ネットワーク作り

3. 働く女性の身体健康の問題

健診等についても、健診項目・結果判定に性差考慮

**産業保健における女性労働者問題
に係る調査研究の課題と展望**

働く女性の実情

女性労働者の増加

年齢別労働力率：M字型

結婚・出産を機に離職ー子育て後の再就職

勤務年数の増加

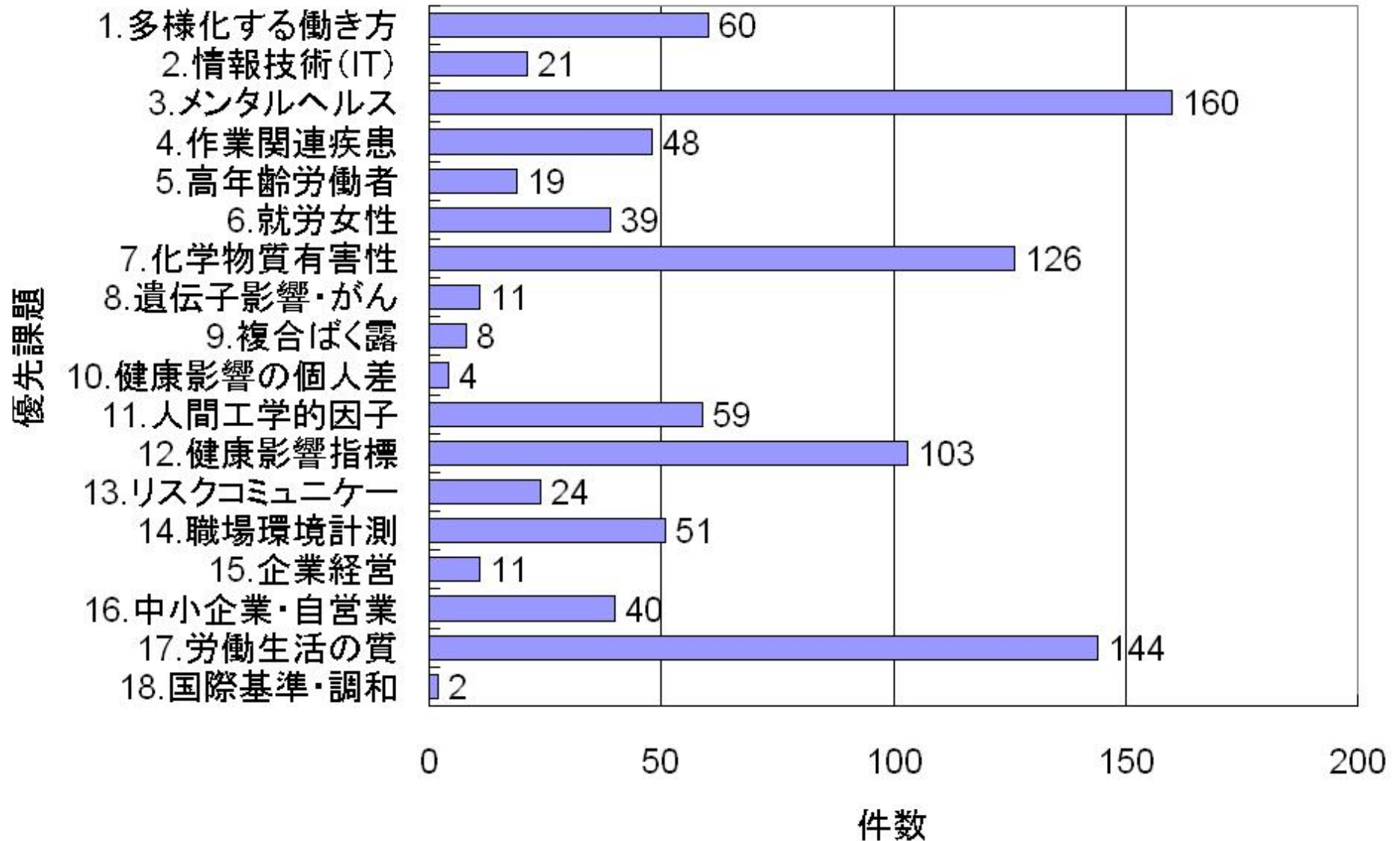
女性管理者

男女格差

多様な働き方、職域の拡大

**就労女性の産業保健に関する
調査研究の動向とこれからの課題**

図2. 18優先課題別の原著論文数(1998-2002)



調査研究の課題

- 職場環境要因の明確化—実態調査
- 女性の特定職場を対象研究→幅広い職種を対象にした研究
- 女性が職場進出によっての労働安全管理上の諸問題
- 性差／ジェンダー
- 横断的研究、縦断的研究
- ライフステージからの分析

産業保健推進センターの調査研究のあり方

- 産業保健推進センターとしても女性労働者問題に関する調査研究は重要課題
- 各地域及びわが国における職場の現状における産業保健の課題とその動向を的確に把握 → 共同での大規模横断的疫学調査研究、地域特殊性を考慮した調査研究
- 連続的・長期的データの蓄積
- 就労女性を取り巻く諸問題をいろいろな視点からと包括的なとらえかた

- 地域の産業保健活動や関連行政施策への活用・ニーズに応えられる調査研究
- 産業保健推進センターを核として産業保健に関する情報のデータベースの整備、保管、情報の提供できるようなシステム作り
- 専門家との共同調査研究
- センター相互、地域産業保健センターとの連携
- 関連機関との情報交換、ネットワーク構築